

養殖池の水質管理システム「vBee-Net」

概要

- 内水面漁業の現場が抱えるエビや魚の大量死による収穫量低下の課題について、養殖池の水質を24時間監視し、複数のセンシングパラメータを弊社独自のアルゴリズムで分析し、既に導入済の装置をコントロール可能にした「養殖池の水質管理システム(vBee-Net)」を開発。
- 本システムは、多くの養殖池に導入済みである拡散パドル、酸素生成器との連携も可能。
- 電源供給はソーラーパネルを適用する事で、電池交換は不要。
- データは弊社サーバーにて管理し、養殖池ではスマートフォンで管理やデータの確認が可能。
- 基本的にはフルオートマチックなシステムであるが、マニュアルモードの設定により生産者がスマートフォンで制御可能。
- 弊社で開発した無線モジュールを搭載する事で、広範囲に展開している養殖池においても対応可能。
- 現在、ベトナム国内の養殖池へ複数導入済みであり、一般販売中。

導入効果

- 本システムの導入により、養殖池に要する電気使用料が25%程度削減されるほか、エビ、魚の斃死軽減により収穫量が向上。
- また、各種センサーとの連携により、人手作業で実施していた水質測定および確認作業が不要。
- さらに、複数の養殖池を同時に管理する事により、他の養殖池との水質比較や成長度合い比較なども可能。



○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当するニーズ

項目	内水面漁業（1）生産
技術ニーズ	その他
具体的なニーズの内容	養殖池の水質管理、生産物の水揚げ、選別等を自動化する技術の開発

○開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	○
その他	

☞連絡先

CMエンジニアリング株式会社
 デザインサービス事業部
 営業部 営業企画チーム
 TEL:03-6420-0946
<https://cmengineering.co.jp/>
naoe.hirokazu@cmengineering.co.jp